

近世⑤「江戸時代後期」

化政文化・天保の改革 B

 7分

1. 次の問いに答えなさい。

- (1) 1792年、ロシアの使節ラクスマンは根室に来航して、通商を求めた。江戸幕府はラクスマンに対して、外交は（ ）でしか行わないので（ ）に行くように伝えた。（ ）に共通してあてはまる、幕府が貿易を行っていた都市の名を答えなさい。

[1]

- (2) もと幕府の役人であり、儒学者でもあった人物が大阪で乱をおこし、幕府に衝撃をあたえた。この人物の名を答えなさい。

[2]

- (3) 蘭学は、どこの言語を通じて知識や文化を学ぶ学問か。国名を答えなさい。

[3]

- (4) 化政文化が栄えたころには、俳諧から生まれた川柳や短歌から生まれた（ ）が流行し、政治や社会のようすを皮肉るものも多くつくられた。（ ）にあてはまる最も適切な語句を答えなさい。

[4]

- (5) 「東海道五十三次」など、風景画を多く残した浮世絵画家の名を答えなさい。

[5]